

古墳発掘 100 年 寺戸大塚

前期古墳研究の聖地



ごあいさつ

乙訓古墳群の中央部、向日丘陵古墳群にある寺戸大塚古墳は、大正12(1923)年の発掘開始から100年が経過しました。本墳の発掘は、京都大学考古学教室(のち、研究室)によって未盗掘の前方部石室の緊急調査と後円部石室の学術調査がおこなわれ、その成果は日本の古墳研究の基礎を固める大きな役割を果たしてきました。ふたつの石室から出土した副葬品は、4世紀前葉につくられた畿内大型前方後円墳の基準資料として、学術的価値がきわめて高く、その注目度はますます高まりを見せています。

このたび財団設立35周年にあたり、京都大学考古学研究室ならびに京都大学総合博物館との共同主催により、本墳の出土品を総覧する展示会を開催することになりました。本墳の最新の調査研究成果とあわせて、多彩な副葬品や土器・埴輪などを多くの方々にご覧いただきたいと思っております。

最後になりましたが、記念展示会の開催にあたり、ご協力いただきました関係機関ならびに関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

令和5(2023)年9月

公益財団法人向日市埋蔵文化財センター

目次

1. 寺戸大塚古墳の概要	1
2. 発掘100年のあゆみ	6
(1) 京都大学考古学教室の調査	6
(2) 京都府の調査	8
(3) 京都大学考古学研究室の調査	10
(4) 向日市の調査	28
(5) 京都市の調査	14
3. 主要な副葬品	32
4. 寺戸大塚古墳の歴史的価値	48

凡例

- 本図録は、当財団が設立35周年を記念して、京都大学考古学研究室および京都大学総合博物館との共同主催により、令和5(2023)年9月30日から11月26日までを会期として向日市文化資料館で開催した特別展示会にあたり作成した。
- 本展示会の開催にあたっては、京都大学大学院文学研究科の吉井秀夫教授、下垣仁志教授ならびに京都大学総合博物館の村上由美子准教授よりご指導を賜り、格別のご配慮とご協力をいただいた。
- 本展示会の中心となる第4・5次調査から出土した遺物の分析・検討にあたっては、次の方々から多大なご助力を頂戴した。新たな評価については、各位よりご教示いただいた内容をもとにしている。
和田晴吾・吉井秀夫・下垣仁志・村上由美子(遺構・遺物全般)、森下章司・岡本篤志(三次元レーザー計測・銅鏡)、賀来孝代(鶏形埴輪)、廣瀬覚(合子形土器・円筒埴輪)、山本亮(土器・高杯形埴輪)、石製品(二村真司)、繰納民之(鉄製品)
- 本展示会の企画は、寺戸大塚古墳の調査研究に深く関わられた近藤喬一、都出比呂志、山中一郎、阪口英毅の先生方からご教授いただき、頂戴した多岐にわたるご助言をふまえ構成した。
- 本展示会の準備・開催にあたっては、当財団役員の方々の理解を得て、理事長杉原和雄の指導のもと高林美香をはじめ中島信親、田原葉月、平山裕之、中塚良の職員各位の協力を得た。
- 本図録は、編集および執筆を梅本康広が担当した。復元画を担当した田中さとこ氏からは、寄稿(コラム)をいただいた。

展示協力者（敬称略・五十音順）

内田真紀子 内田真雄 内田好昭 北村結愛 坂川幸祐 里見徳太郎 菅生薫 玉城玲子 西村知浩 橋本雅俊
原田早季子 藤村裕美 丸川義広 南孝雄 村井伸也 森暢郎 山本雅和 山本芳栄 渡辺智子 渡辺博 和田晴吾
桜井市教育委員会 大山崎町教育委員会（公財）京都市埋蔵文化財研究所 京都市考古資料館 向日市文化資料館
向日市文化財調査事務所

収録資料所蔵・保管一覧 ※番号は写真 No.

京都大学考古学研究室保管：寺戸大塚古墳後円部石室出土副葬品（41～43、48、50、51、55、56、57の一部）
京都大学総合博物館：寺戸大塚古墳前方部石室出土副葬品（44～46、49、52～54）、妙見山古墳出土鏡（47）
向日市教育委員会所蔵：寺戸大塚古墳前方部石室出土副葬品の一部（49、52～54）、埴輪の一部（57）

写真提供一覧 ※番号は写真 No.

京都大学考古学研究室：6～10、12～15、17～29、31～33
大手前大学史学研究所：3、40、42～47、表紙写真（42・44～46をもとに作成）
公益財団法人京都市埋蔵文化財研究所：37～39
向日市文化資料館：41、48、50、51、55、56
公益財団法人向日市埋蔵文化財センター：1、34、35、52～54、56、57

参考文献

- 都出比呂志 1978「古墳の出現」『ジュニア日本の歴史』1 日本の誕生 小学館
都出比呂志 1979「向日丘陵古墳群」『世界考古学事典』上 平凡社
和田晴吾 1981「向日市五塚原古墳の測量調査より」『王陵の比較研究』
京都大学文学部考古学研究室
都出比呂志 1983「前方後円墳の出現」『向日市史』上巻 向日市
山本忠尚 1985「調査技術論」『岩波講座日本考古学』1 研究の方法 岩波書店
川西宏幸 1988「円筒埴輪総論」『古墳時代政治史序説』塙書房
和田晴吾 1989「葬制の変遷」『古墳時代の王と民衆』古代史復元6 講談社
足利健亮 1991「老ノ坂と古道」『京都・大枝の歴史と文化』思文閣出版
和田晴吾 1997「墓壙と墳丘の出入口－古墳祭祀の復元と発掘調査－」
『立命館大学考古学論集Ⅰ』立命館大学考古学論集刊行会
森下章司 1998「鏡の伝世」『史林』第81巻第4号 史学研究会
川西宏幸 1999「三角縁仏獣鏡」『古墳時代の比較考古学』同成社
梅本康広・森下章司編 2001『寺戸大塚古墳の研究Ⅰ』向日丘陵古墳群
調査研究報告第1冊 財団法人向日市埋蔵文化財センター
近藤喬一・都出比呂志 2004『向日丘陵の前期古墳』向日市文化資料館
都出比呂志 2005『前方後円墳と社会』塙書房
福永伸哉 2005『三角縁神獣鏡の研究』大阪大学出版会
早川和子 2007『よみがえる日本の古代－旧石器～奈良時代の日本が
わかる復元画古代史－』小学館
廣瀬覚 2008「葺石の成立・展開と地域間交流」『吾々の考古学』
和田晴吾先生還暦記念論集刊行会
清家章 2010『古墳時代の埋葬原理と親族構造』大阪大学出版会
下垣仁志 2011『古墳時代の王権構造』吉川弘文館
近藤喬一 2013「京都寺戸大塚出土の三角縁仏獣鏡－道仏混糅の痕跡を追う
－」『アジアの歴史と文化』第17輯 山口大学アジア歴史・文化研究会
広瀬和雄 2013「古墳時代の首長－前・中期古墳の複数埋葬をめぐる－」
『国立歴史民俗博物館研究報告』第175集
和田晴吾 2014『古墳時代の葬制と他界観』吉川弘文館
廣瀬覚 2015『古代王権の形成と埴輪生産』同成社
森下章司 2016『古墳の古代史』ちくま新書 1207 筑摩書店
広瀬和雄・梅本康広編 2018『畿内乙訓古墳群を読み解く』季刊考古学・別冊 26 雄山閣
広瀬和雄 2019『前方後円墳とは何か』中公選書 中央公論社
岩本崇 2020『三角縁神獣鏡と古墳時代の社会』六一書房
賀来孝代 2021「古墳時代の鶏」『古墳文化基礎論集』古墳文化基礎論集刊行会
山本亮 2022「近畿地方中部における二重口縁鏡の系列と変遷」『考古学雑誌』第104巻第2号

表紙写真

右：浮彫式獣帯鏡、中央：三角縁櫛歯文帯仏獣鏡、
左：方格規矩四神鏡

裏表紙写真

「仿製」三角縁三神三獣獣帯鏡
大手前大学史学研究所が作成し提供いただいた寺戸大塚
古墳出土鏡の三次元レーザー計測画像をもとに作成
京都大学考古学研究室保管（三角縁櫛歯文帯仏獣鏡）
京都大学総合博物館所蔵（浮彫式獣帯鏡、方格規矩四神
鏡、「仿製」三角縁三神三獣獣帯鏡）

財団設立35周年記念展示図録

古墳発掘100年 寺戸大塚

発行日／令和5（2023）年9月30日

発行／公益財団法人向日市埋蔵文化財センター
〒617-0004 京都府向日市鶏冠井町上古23
Tel. 075-931-3841 Fax. 075-931-4004

印刷／株式会社グラフィック